

JABEE 教育成果点検評価委員会と学務委員との打ち合わせ会（平成 15 年度 1 回）

1. 日程

平成 15 年 8 月 5 日 14:30～16:00

2. 場所

7 号館 建設工学科杉山研究室

3. 出席者

杉山, 若井両学務委員, 辻教育成果点検評価委員会委員長

4. 記録

辻

5. 資料

1-1 建設工学科教育プログラムの具体的な改善案 (Ver.1) 2003/07/14

1-2 JABEE 教育成果点検評価委員会 (平成 15 年度 1 回)

1-3 平成 15 年度第一回教育システム検討委員会議事録

6. 審議事項

資料 1-1 に基づき, 資料 1-2 と 1-3 の委員会の審議事項をチェックしながら, 教育成果点検評価委員会で実施すべき事項を, 次のように確認した. 主として, 資料 1-1 における基準 5 と 6 の項目について, 審議した.

- 1) 卒業研究発表会に使用する学生の評価シートを作成する. その評価項目の中に, 表 3 の (D) ~ (G) の学習・教育目標についての評価を組み入れる. それにより, 「総合評価」を導入する.
- 2) 平成 15 年度よりの要求事項である表 8 は, シラバスを参照して, 作成する.
- 3) 年間スケジュール表を, 辻が作成する. それにより, 各委員会などの年間審議・検討事項を明確化できる.
- 4) 過去数年間における教育プログラムの受け入れ人数と修了生の人数の推移を, 表に示す.
- 5) 基準 6 に記述している「教育点検書」は, 鶴飼教授が作成された「教員の教育業績と業務の評価に基づく一部校費の配分システム」の基になる調査書に相当すると位置づける. 調査書の項目と自己点検書 3-259 からの教育業績リストの項目との整合を鶴飼教授に願う.
- 6) 技術者原論の 4 年生の修得状況を調べる.
- 7) 技術者原論の修得については, 2 年生のガイダンスにおいて徹底させる.
- 8) 科学技術論の講師の依頼は, 講義形態と謝礼の点につき, 議論すべきである. また, 修得のガイダンスについても検討すべきである.

以上

JABEE 教育成果点検評価委員会と学務委員との打ち合わせ会（平成 15 年度 2 回）

1. 日程

平成 16 年 1 月 27 日 15:00～16:30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者

辻委員長，青島，清水，チョウの各委員，杉山学務委員

4. 欠席者

蔡委員，山口外部委員

5. 記録

辻

6. 資料

2-1 前回議事録

2-2 打ち合わせ会記録

2-3 JABEE 年間スケジュール表

2-4 平成 14 年度 各授業科目成績分布一覧表（チョウ委員）

2-5 教員の研究業績と業務の評価に基づく一部校費の配分システム

2-6 JABEE 指摘事項と回答および自己点検書表 3 と参考付表 2（杉山学務委員）

2-7 自己点検書参考付表 1 および点検シート例（杉山学務委員）

2-8 自己点検書 5-54 頁 引用・裏付け資料 1（杉山学務委員）

7. 審議事項

資料 2-1, 2-2, 2-3 に基づいて，前回の議事の確認した．そして，その後の杉山，若井学務委員と辻委員長との打ち合わせについての説明が，辻委員長よりあり，当点検評価委員会の活動内容を確認した．

- 1) 前期期末試験成績表の確認を学科長と学務委員が 10 月に行なった報告があった．年間スケジュール表中のこの確認を，日程が厳しいので 9 月から 10 月に変更する．
- 2) 資料 2-4 についてチョウ委員から説明があり，了承した．
- 3) 資料 2-5 に基づく校費の配分は本年も実施する．
- 4) 資料 2-6 と 2-7 について杉山学務委員が説明し，点検シートの学習・教育目標に対する達成度の A～G ごとの平均値と標準偏差の計算はクラスごとにクラス担任にお願いして，随時指導をして頂く．それらの管理は，当委員会が行なう．このことを実行していくことにより，資料 2-6 の回答に応えていける．
- 5) 資料 2-8 の説明が，杉山学務委員よりあった．この作業は大変で，2. の学期末ごとの成績表があり，学生個人ごとに成績表を保護者に送付しているため，資料 2-8 の作成は止めることにした．
- 6) 15 年度前期の〔技術者原論〕の履修率は 75%程度だったことが，清水委員より報告された．ガイダンスを徹底することになった．

以上

教育成果点検評価委員会（平成 15 年度 3 回）

1. 日程

平成 16 年 3 月 23 日 12:00～12:30

2. 場所

7 号館 建設工学科会議室

3. 出席者

辻委員長，青島，清水，蔡，曹の各委員，若井学務委員

4. 欠席者

山口外部委員

5. 記録

辻

6. 資料

3-1 前回議事録

3-2 審議項目

7. 審議事項

後期期末試験成績表の確認を，学科長と学務委員が本日行なった報告があった．

- 1) 4 年次および 3 年次への進級学生の判定を，本日の進級判定会議で行い，その結果を確認した．
- 2) 前回の資料 2-5 に基づく校費の配分は，本年度も実施する．配分方法も昨年度と同様とする．
- 3) 前回の委員会で，資料 2-6 と 2-7 について杉山学務委員が説明された，点検シートの学習・教育目標に対する達成度の A～G ごとの平均値と標準偏差の計算はクラスごとにクラス担任にお願いして，随時指導をして頂くこと，そしてそれらの管理は，当委員会が行なうことを，それぞれ確認した．
- 4) 前回は報告のあった 15 年度前期の〔技術者原論〕の履修率は 75%程度だったことから，来年度のガイダンスでは，履修の指導を徹底させる．また，2 年次の〔学修原論〕の履修指導を徹底させる，少しプライオリティは低いですが 3 年次の〔科学技術論〕の受講を呼びかける．
- 5) 教養担当の先生との情報交換を密にするため，5 月に情報交換会を，また清水，若井両先生を中心に月曜日に情報交換を，それぞれ荒牧で実施することを，教育システム検討委員会に提案する．

以上